

人材育成学会第3回研究会

トランスカルチュラル・リーダーシップ ～その要素と育成

日 時：2004年7月11日（日）14：00～17：30 （懇親会 17：40～18：40）

会 場：（学）産業能率大学 自由が丘キャンパス 1号館 5階大会議室

プログラム

14:00—14:10 【開会挨拶】大泊 剛（株式会社人事工学研究所／人材育成学会副会長）

14:10—14:55 【講演1】 研究者・実践者の立場から

馬越 恵美子 氏 （桜美林大学経営政策学部教授／異文化経営研究会会長）

14:55—15:40 【講演2】 実務担当者の立場から

平沢 健一 氏（グローバル&チャイナビジネスコンサルタント代表
／日中協力機構代表／前 日本ビクター株式会社理事）

15:40—15:55 【休憩】

15:55—16:40 【講演3】 企業教育とコンサルタントの立場から

船川 淳志 氏（グローバルインパクト代表パートナー／
サンダーバード日本校客員教授）

16:45—17:30 【フロアを含めた質疑応答】 司会：大泊 剛

17:40—18:40 【懇親会】

今年度の第1回の研究会は、否応なしに加速化するマネジメントのグローバル化に対応しての異文化・多文化における経営問題と、それを担当する人材に焦点を絞って、多角的に研究することにしました。

- ・企業経営のグローバル化にかかわるトランス・カルチュラル・マネジメントの現状と問題点と方向
- ・そこで要求される人材の資質、能力、知識、技能などは、どのようなものがとくに重要か
- ・こうした国際担当要員の選抜・育成、とくにファスト・トラック方式による能力開発の実態
- ・海外派遣者の処遇と帰国後の対処の実情
- ・実践的な外国語教育のあり方と問題点

これらの問題に照準を合わせて、主として研究者の立場からNHKラジオビジネス英会話土曜サロンの講師も務められた馬越恵美子氏、現場の経営体験者としての平沢健一氏、そしてファシリテーターの立場から船川淳志氏のお三方から、ポジティブ・ネガティブ両面からの貴重な体験談を重点的にうかがい、その後、三講師間の討論、および参加者を交えての質疑応答やディスカッションを展開したいと思います。

真にグローバルな組織と企業文化を構築し、そこで必要なマインドセットとスキルを創造することに関して、必ずや有益な示唆と洞察が得られるものと信じます。